

多久市勢要覧を刊行しました

市政55周年と多久聖廟創建300年を記念して、市勢要覧を新しく刊行しました。

今回は、『時代を越え、次代へ繋ぐ』をタイトルに、『人が主役』のまちづくりをテーマに、55年間のあゆみと未来への展望、また各方面で活躍する市民の方や、多久市出身の著名人を紹介しています。



市立図書館をはじめ、各地区公民館でもご覧になれます。

購入ご希望の方には1部1,000円で販売しています。

■問い合わせ

総務部 経営統括室 広報統計係

☎75-2116

■問い合わせ

福祉健康課

社会福祉係

☎75-6118

家庭における、児童の性格や行動上の悩み、家庭関係についての悩みなどとの相談に応じます。

子どものことで相談したい時は



家庭相談員
小野 茂さん

母子家庭や寡婦のみなさんの抱える悩みごとや、母子・寡婦福祉資金等についての相談に応じます。

母子家庭のことで相談したい時は



母子自立相談員
大谷ひとみさん

悩みごとは、抱え込まずに誰かに話してみることが、解決への第一歩です。電話による相談や必要な場合は、ご家庭を訪問します。お気軽にご相談ください。相談日は、毎週月・水・金の9時から16時までです。

ひとりで悩まずに相談ください



市長のWindow

▼市民のみなさんへ

新型インフルエンザ

6月は水無月。雨降りが気になる季節です。そのスタートの1日に防災行政無線の開局を行います。1年半の計画で進めてきた整備を5月初旬に終え、本格稼働するのです。これで緊急情報などを市内全域にお知らせできるようになります。災害は無いのがベストですが、万一の発生事態に備え、市民の皆様の安心・安全を高めることがまたひとつできました。

一方では5月の連休前から新型インフルエンザの感染者ニュースが全国を巡っています。米国から成田空港に帰国した高校生が感染しているとのニュースが最初でした。その後、神戸・大阪での発生により4千校以上の学校が1週間休校となったりしました。関西のみならず、東京・神奈川でも感染者が発生し、「いよいよ首都に」と危機感も高まっています。でも「いつかは来と思っていた」の反応のようですが、そのニュースとともにマスクが店頭で品薄となっています。5月22日の朝の閣議後に政府は「通常の季節性インフルエンザと同様の対応にシフトする」との趣旨での対策緩和を示しました。

市では連休の成田空港での発生報道時点から随時、対策会議を開き、国内・県内・市内での発生の場合を想定し、それぞれの状況に的確に対応できるよう検討と準備をしています。

25日の週には全国的にも落ち着きが垣間見られるようですが、感染の心配が消えた訳ではありません。それに冬のインフルエンザ流行期に再拡大の可能性も残るかもしれません。いずれにしても健康管理が第一で、その基本は「手洗い・うがい」です。皆様も励行し、健康管理をお願いします。（俊彦）

市長コラム

市交際費支出状況

▼平成21年度4月分

支出種別	区別	件数	金額(円)
弔慰	今月分	3	30,750
	累計	3	30,750
見舞い	今月分	0	0
	累計	0	0
御祝	今月分	6	21,275
	累計	6	21,275
賛助	今月分	0	0
	累計	0	0
激励金	今月分	0	0
	累計	0	0
接遇	今月分	4	7,175
	累計	4	7,175
会費	今月分	2	8,000
	累計	2	8,000
その他	今月分	2	6,510
	累計	2	6,510
合計	今月分	17	73,710
	累計	17	73,710

◎詳細は市のホームページに掲載しています。

■問い合わせ 総務課・秘書係 ☎75-2115